

## サツマシジミを芦屋市で記録 西 隆広

サツマシジミ(*Udara albocaerulea*)は兵庫県芦屋市の近隣で散発的な記録はあるが、芦屋市内での記録は寡聞にして知らない。本年(2001年)、市内で採集したので報告する。採集した地点は標高600m程の芦屋川の上流で、木が茂る暗い河原を飛んでいた。

本種は本州各地で分布を広げつつあることは知られている。採集個体は新鮮であったことから、採集地点近傍で発生したと考えられる。しかし私は近隣市町での経年的発生情報に接していないことから、現段階では芦屋市における本種は、迷蝶(一時発生)と位置付ける。

### データ

サツマシジミ 芦屋川上流(奥山),芦屋市  
1♂ 12.VIII.2001 西 隆広採集・保管  
(NISHI TAKAHIRO 芦屋市川西市4-3)

## アカシジミの多発(芦屋市の例) 西 隆広

本年(2001年)は、当地方ではアカシジミ(*Japonica lutea*)が多発した。この現象について、兵庫県芦屋市の状況を報告する。

2001年の芦屋市での本種の成虫初記録は、我が家(芦屋市川西市)の庭で、5月12日、1♀だった。この記録は従来の記録に比較して早いもので、しかも芦屋市の平野部の住宅街での記録であり、これを報告しようと思っていたところ、その後芦屋市の山域で多数の本種を観察し、多発に関する報告とした。

下表は、芦屋市内で私がルートを決めて蝶などの観察している内の1区間である東お多福山山頂から山麓までの間のアカシジミの頭数である。各年の観察月日はうまく一致していないが、2001年の多発傾向は十分現れている。特に6月16日の数はこれまでの観察頭数に比較して桁違いの多さであった。この傾向はその頃観察した山域のすべてに亘って観察された。さらに平野部でも本種の飛翔を数回確認している。

ところで、5月12日の我が家の記録は平野部の記録であり、平野部での発生であれば、山域より一般に早くても不思議ではない。しかし2001年は発生そのものが早かったように思われる。この現象を確

認するためには、東お多福山方面では、6月上旬～7月上旬での各年の記録の対比ができればベストだが揃わなかった。

我が家の記録は、当市ではアカシジミが山域のみならず、平野部の市街地内でも発生していることを示唆するものであった。この点でも興味深い記録である。我が家の庭にはアカシジミの食樹となり得るものは植えていないが、周辺地域の一部に屋敷林が残存し、アラカシが複数見られる。

東お多福山での観察頭数

年	月日	頭数
1993	6/12	1
	6/27	4
	7/04	5
1994	6/04	0
	6/25	2
	7/03	0
1999	7/04	2
	7/10	1
2000	7/01	13
	7/09	4
2001	6/16	103
	6/24	47

(NISHI TAKAHIRO 芦屋市川西市4-3)

## 但馬におけるクロコノマチョウの記録 近藤 伸一

イシガケチョウと同様にクロコノマチョウの分布の拡大が各地で報告されている。八鹿町でクロコノマチョウを採集および撮影した。同じ場所で、2週連続して新鮮な個体を確認したので、この場所付近で発生したものと思われる。この場所は本年行っているルートセンサスのコースで、4月から観察を行い、このとき初めて確認したもので、その後も月3回の割合で10月末まで観察を続けたが、確認出来なかった。調査に同行していただいた森口 紀氏にお礼申し上げる。

### 採集観察記録

八鹿町石原 1♀ 28.VII.2001 森口 紀

この♀は後日多数産卵した。

八鹿町石原 1♀撮影 3.VIII.2001 近藤伸一

(KONDO SHINICHI

神戸市西区岩岡町岩岡619-57)